

第5回 都心部・臨海地域地下鉄構想 事業計画検討会

議事概要

1. 日 時 令和5年1月19日(木) 16時00分～18時00分
2. 場 所 都庁第二本庁舎31階特別会議室22
3. 議 事

<用語解説>

- ・「臨海地下鉄」：都心部・臨海地域地下鉄
(東京(仮称)～有明・東京ビッグサイト(仮称))
- ・「TX東京延伸」：常磐新線の延伸(秋葉原～東京(新東京))
- ・「臨海部ルート」：羽田空港アクセス線の新設
(東京テレポート～東京貨物ターミナル付近～羽田空港)
- ・「関係者」：関係地方公共団体、鉄道事業者等

(1) 事業計画の検討について

○検討結果について

- ・交通政策審議会198号答申に位置付けられているTX東京延伸、臨海部ルートとの接続による臨海地下鉄の事業性などを検討した
- ・接続した場合でも、臨海地下鉄の事業性が確保できることを確認した

○留意事項について

- ・ TX 東京延伸との接続の検討にあたっては、交通政策審議会の答申の内容も踏まえ、TX 東京延伸自体の検討が必要である
<答申の記載>
 - ・ 交通政策審議会第 198 号答申
「事業性の確保に向けて、臨海地下鉄と TX 東京延伸を一体で整備し、（中略）検討が行われることを期待」
 - ・ 交通政策審議会第 371 号答申
「TX 東京延伸との接続も含め、（中略）検討の深度化を図るべき」
- ・ TX 東京延伸自体の検討にあたっては、TX の大規模投資や経営状況等を踏まえて関係者間で進めていく必要があるが、TX 東京延伸との接続については、臨海地下鉄の東京駅（仮称）において接続を見据えた検討を進めるなど、関係者と協議・調整を行う必要がある
- ・ 臨海部ルートとの接続の検討にあたっては、臨海部ルート自体の検討が必要である
- ・ 臨海部ルートとの接続については、臨海地下鉄の有明・東京ビッグサイト駅（仮称）において接続を見据えた検討を進めるなど、関係者と協議・調整を行う必要がある

- ・ 接続にあたっての技術的な課題については、十分な調査、検討が必要である
 - ・ 築地地区まちづくり事業といった沿線開発や今後のベイエリアの交通需要増が見込まれている中、臨海地下鉄については、2040 年までの実現を目指す取組として都のまちづくり戦略に位置付けられていることから、TX 東京延伸及び臨海部ルートとの接続については、上述の留意事項も踏まえつつ、引き続き、沿線開発等の進捗を踏まえた検討が必要である
 - ・ 臨海地下鉄の事業性向上に資する事業スキームの構築にあたっては、沿線まちづくりとの連携を検討する必要がある
- との指摘があった

○第 6 回以降については、検討状況を踏まえ、開催することとした

以上